

これまでの活動における成果のまとめ

～ 吉沢地区のまちづくり計画の方針について ～

平成 23 年 3 月 18 日（金）

吉沢地区自治会連合会

『湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会』

—目 次—

1. 本計画の目的と位置づけ	1
2. 吉沢地区の概況	2
2-1 吉沢地区の位置づけ	2
2-2 周辺環境	3
2-3 法規制	4
2-4 人口・世帯	6
2-5 年齢別人口と高齢化率	7
2-6 吉沢地区の特徴と問題点	8
3. 上位計画による吉沢地区の位置づけ	10
3-1 平塚市総合計画	10
3-2 平塚市都市マスタープラン（第2次）	11
4. まちづくりの課題	16
5. まちづくりの目標	18
6. 「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」における先導的な取組み	22
6-1 「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」の取組みの方向性	22
6-2 「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」の基本的な考え方	22
7. 吉沢地区のまちづくりの実現による波及効果	23

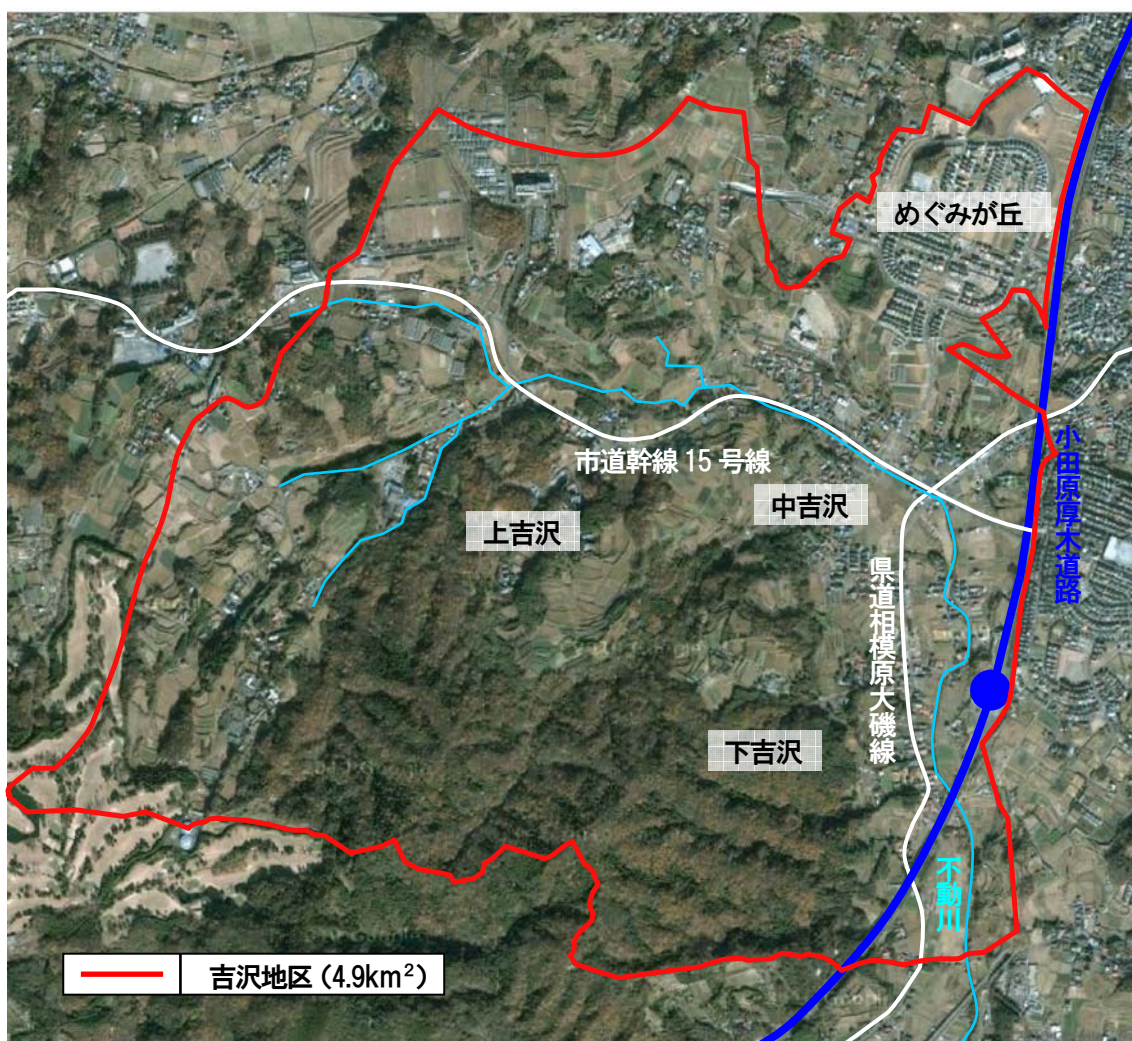
1. 本計画の目的と位置づけ

本計画は、これまでの「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」の活動成果を踏まえ、吉沢地区全体の活性化の実現に向けて、地区内に居住する住民、土地を所有する地権者などの多様な主体がハード・ソフト両面で取組むべきまちづくりの方向感を共通認識として持つために取りまとめたものです。

今後、まちづくりに関わる多様な主体は、本計画の趣意に基づき創意工夫を重ね、吉沢地区のまちづくりを進めて頂ければと考えています。

【対象地区】

本計画の対象地区は、「上吉沢」、「中吉沢」、「下吉沢」、「めぐみが丘」の4つの集落で形成される吉沢地区（約4.9k㎡）としています。



2. 吉沢地区の概況

2-1 吉沢地区の位置づけ

平塚市は、平塚駅を中心に市街地が発展し、平塚駅周辺は「南の核」として市全体の活力と賑わいを牽引する中心市街地として成熟しています。

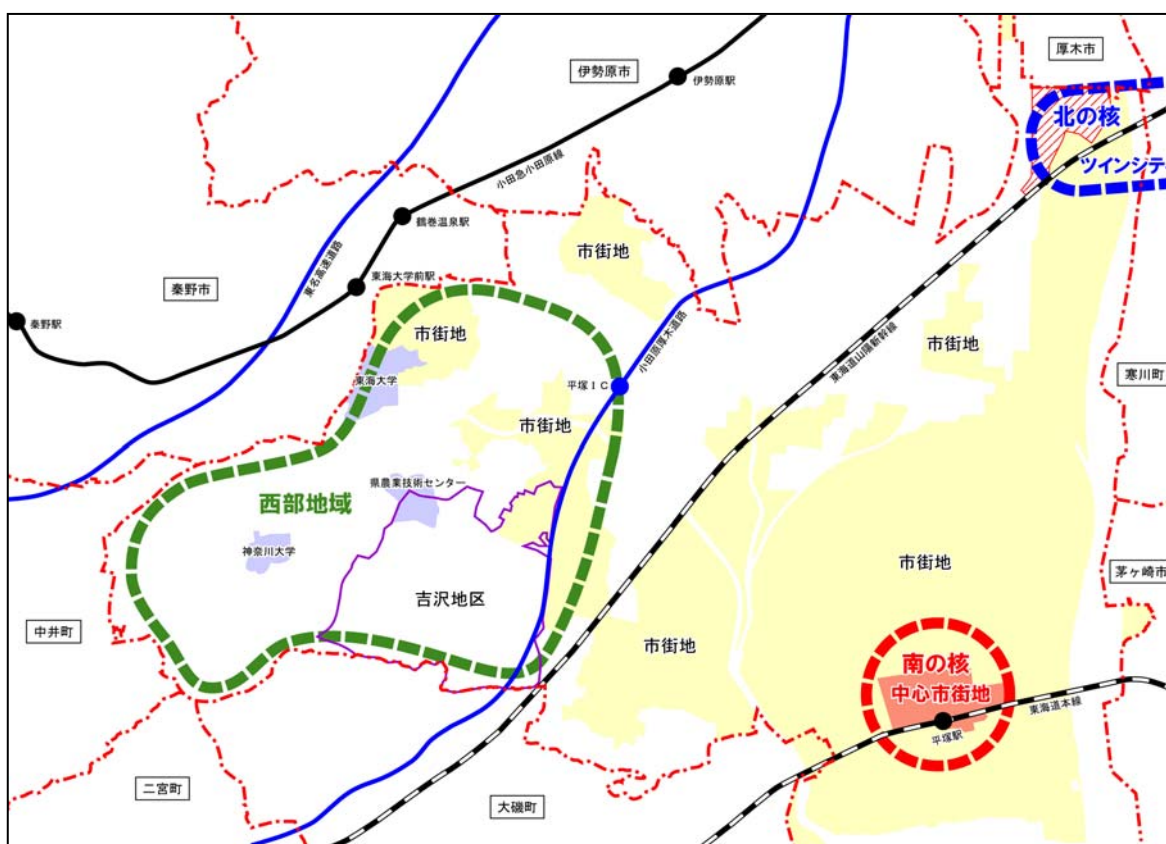
また、市域北側には、「ツインシティ」が計画されており、寒川町側には新幹線新駅の設置も検討されています。

この計画の実現により、平塚市には新たな顔となるまち（北の核）が生まれ、定住人口の増加に加え、通勤や旅行など様々な人々の来訪による交流人口の増大も期待されています。

一方、吉沢地区を含む西部地域は、大磯町、二宮町、中井町に接し、その大半が市街化調整区域であるため、賑わいや活力に乏しい地域のままとなっています。

また、交通的に孤立した地域のため道路・交通網が弱く、中心市街地の賑わいと活力が及ばず、ツインシティの整備効果も期待できないと思われます。

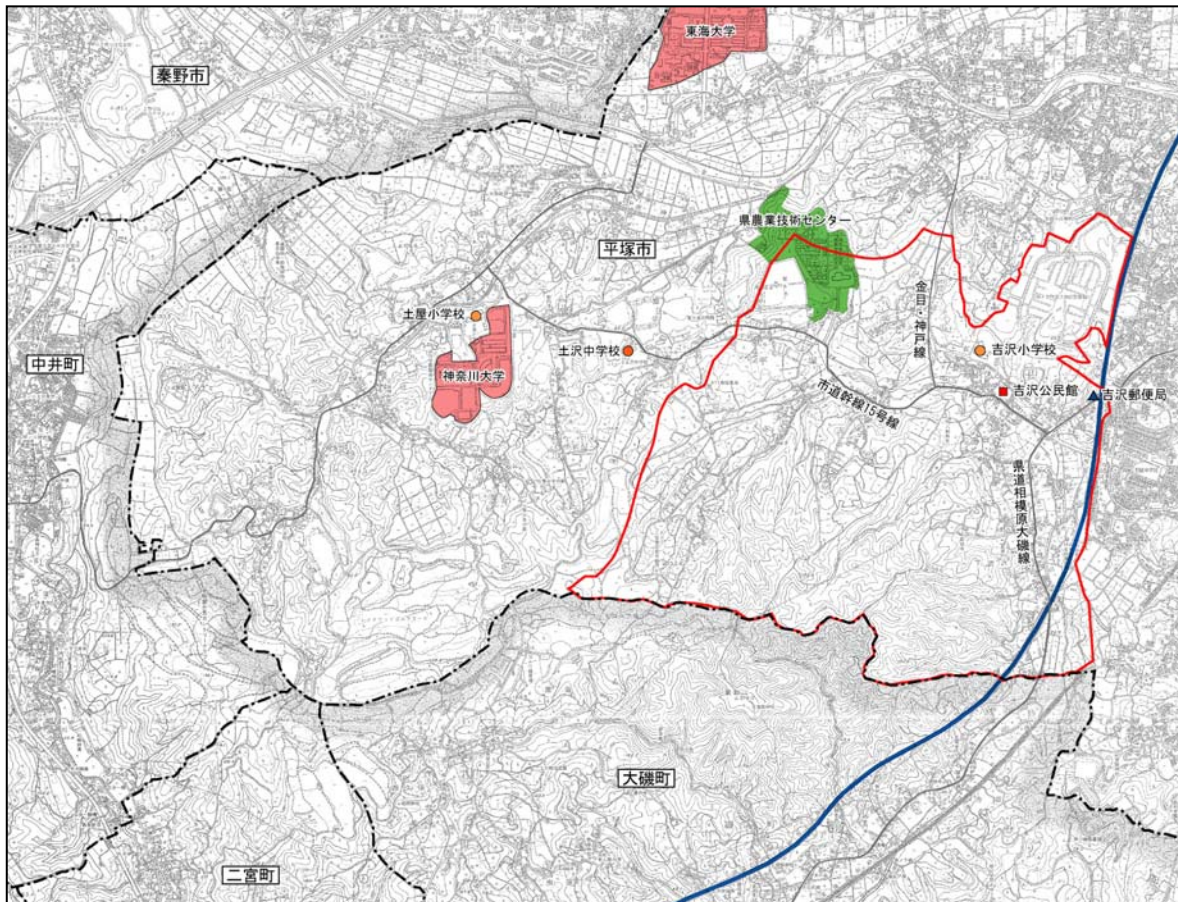
このため、今のままでは、吉沢地区の発展は望めず、特に「めぐみが丘」を除く集落は、数十年後には衰退してしまう恐れがあると思われます。



2-2 周辺環境

吉沢地区は、平塚市街地の縁辺部に接している西部地域の玄関口とも言えます。主要な道路としては、東側に県道相模原大磯線が、地区の中心部を市道幹線15号線が通っています。地区内には、吉沢公民館や吉沢小学校が立地しており、平成22年10月には神奈川県企業庁平塚配水池の上部にパークゴルフ場が整備されました。

この他、周辺にはかつての「ばらの丘ハイテクパーク構想」に基づき開発された「神奈川大学」及び「県農業技術センター」が、また地区の子供たちが通う土沢中学校が立地しています。

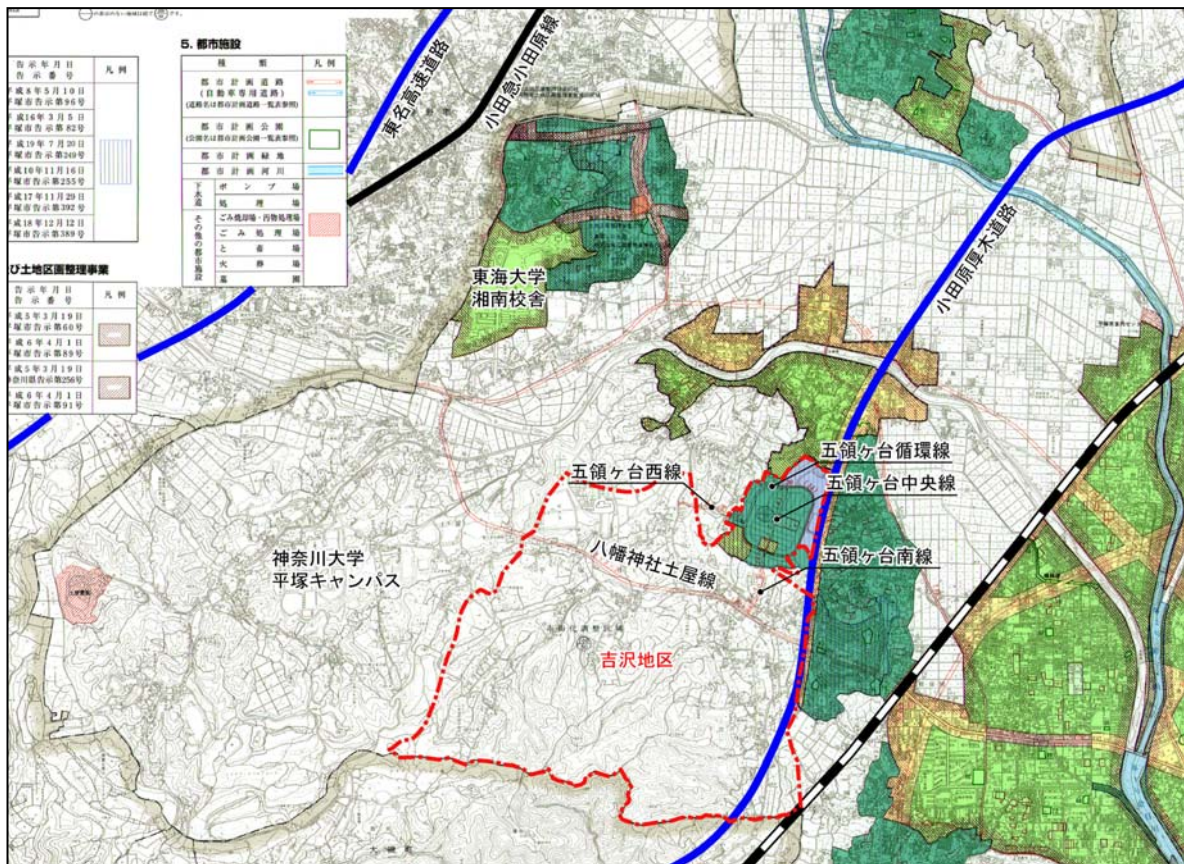


2-3 法規制

①都市計画

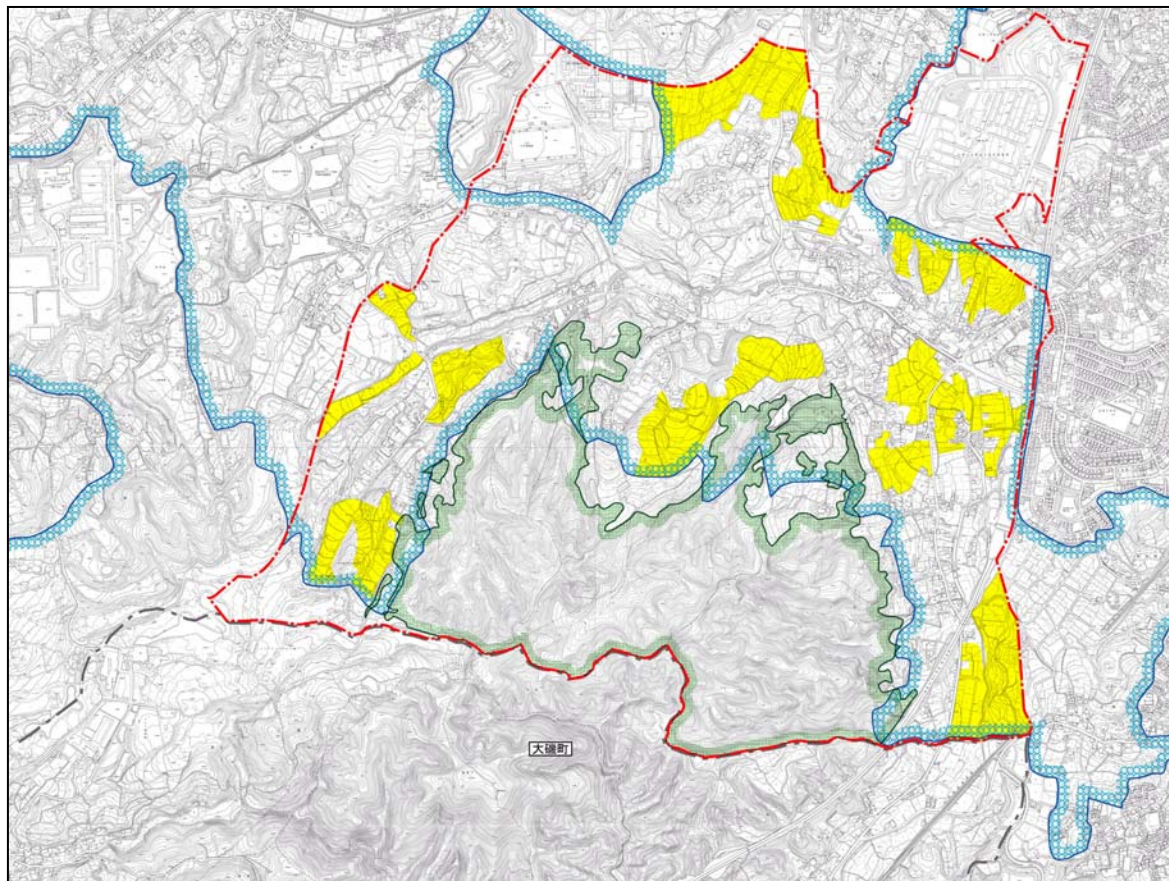
吉沢地区は、平塚市街地の緑辺部に接している西部地域の玄関口です。現在、めぐみが丘を除くエリアが市街化調整区域になっています。

地区内には、都市計画道路として八幡神社土屋線、五領ヶ台循環線、五領ヶ台西線、五領ヶ台南線、五領ヶ台中央線が計画決定されています。このうち、八幡神社土屋線及び五領ヶ台南線の一部が未整備のままとなっています。



②その他の規制

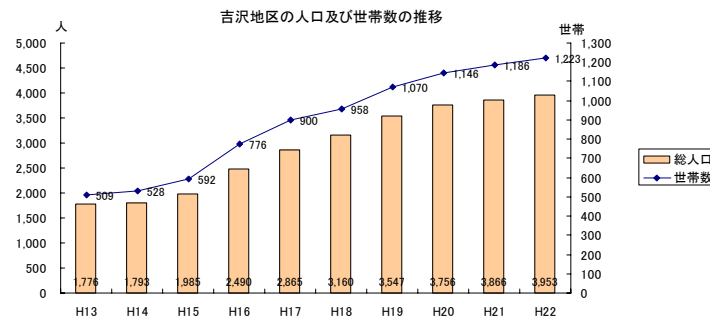
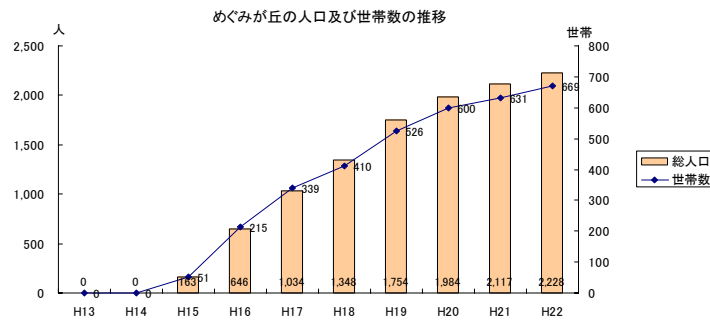
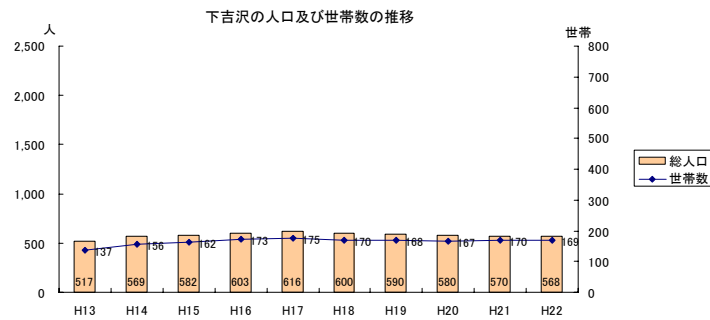
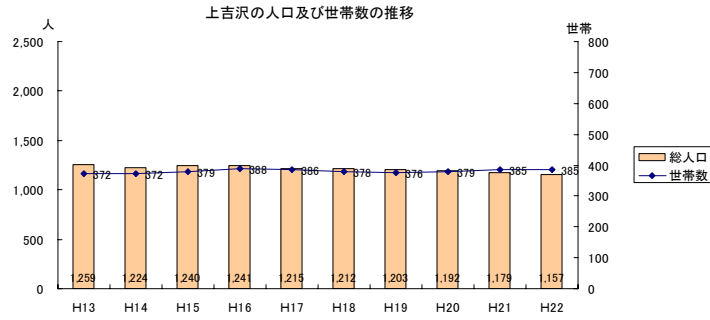
吉沢地区の大半が農業振興地域に指定されており、一団の優良な農地が農用地として守られています。また、南側一帯に広がる森林は、地域森林計画対象民有林になっています。



2-4 人口・世帯

上吉沢及び下吉沢では、世帯数に大きな変化は見られませんが、人口は減少傾向となっています。一方、めぐみが丘は、平成14年の街開きから順調に人口及び世帯数が増加しています。

※平成17年10月1日現在で実施された国勢調査の確定値に基づき、以後の住民基本台帳人口の増減を加え、推計した数値（各年1月1日現在）。

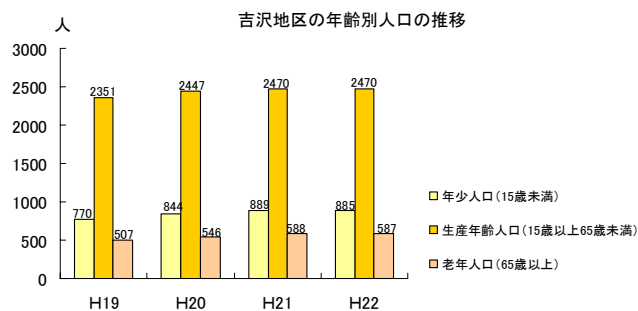
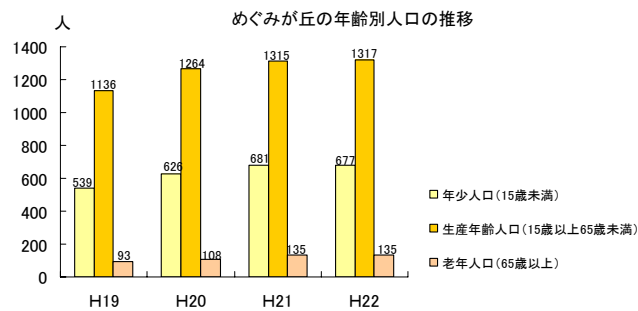
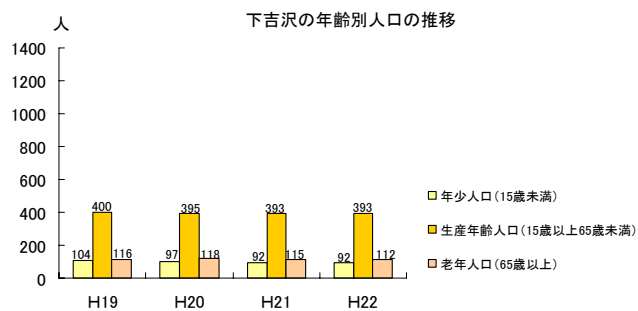
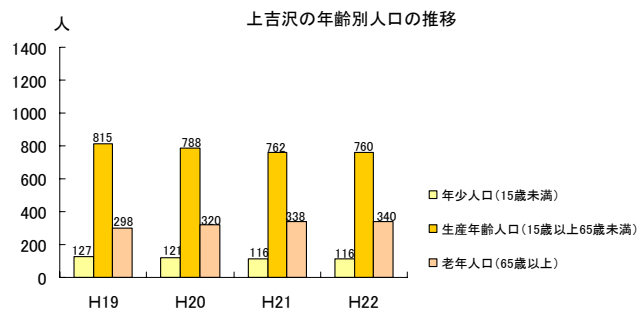


2-5 年齢別人口構成と高齢化率

上吉沢及び下吉沢では、生産年齢人口が微減しており、減少傾向にある一方で、めぐみが丘では、増加しています。

高齢人口を見ると、上吉沢及びめぐみが丘では、増加しており、平成22年の高齢化率としては、上吉沢が約28.0%〔340/1,216≒0.279〕、下吉沢が約18.7%〔112/597≒0.187〕、めぐみが丘では、約6.3%〔135/2,129≒0.063〕となっています。

※住民基本台帳に記載された人口を町丁目別年齢別に集計した数値（各年1月1日現在）。ただし、前項で示した町丁目別の推計人口とは一致しない。



2-6 吉沢地区の特徴と問題点

吉沢地区は、集落の成り立ちや特徴から「上・中・下吉沢」、「めぐみが丘」、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」の3つのエリアと「公民館周辺」の1拠点に分けられます。

①「上・中・下吉沢」：農業や酪農に従事する人々が多く暮らす既存集落

- ・古くからの集落で、主に不動川沿いに住宅と農地が混在しており、昔ながらの田園風景が残されています。
- ・高齢化率は、平成22年1月1日現在、約24.9%（上吉沢：約28.0%、下吉沢：約18.8%）となっており、市全体の21.3%と比べても高く、高齢化が進んでいます。
- ・農家では、後継者不足や高齢化により、休耕地が目立つようになってきており、農地の荒廃が顕在化してきています。
- ・若い世代が少なくなっているため、地域コミュニティの維持についても重大な問題が生じてきています。例えば、お祭りなどの開催も難しくなっており、生活文化の継承、更には地域コミュニティの礎である自治会活動すら活気が失われつつあります。
- ・歩いて行ける範囲には、日常生活に必要な物を買える場所すらなく、特に高齢者にとっては生活する上で不便さがあります。
- ・山や農地に囲まれ道路も限られているため、集落内の移動にも不便さがあります。
- ・集落内には細街路も多く、一般の交通だけでなく、緊急車両の進入に支障をきたす箇所も見受けられます。また、歩行者が安全に通行できない箇所もあります。



②「めぐみが丘」：計画的なまちづくりにより生まれた、若い世代が多く住む市街地

- ・土地区画整理事業により開発された住宅地で、そのほとんどが戸建住宅として分譲されています。
- ・まちづくりのルールである地区計画が定められ、街並みも計画的に整備され清涼感が感じられます。
- ・新しいまちということもあり、比較的若い世代が多く住んでいます。このため、子供たちの声も数多く聞こえる賑わいのある地区です。
- ・高齢化率は、平成22年1月1日現在で、約6.3%と低く、若い人を中心としたまちとなっています。
- ・地区内に店舗併設の食品加工所の出店が計画されており、利便性向上が期待されています。とは言え、資産価値の維持・向上のためにも、更なる利便施設の誘致やバス交通機関の強化等も必要となっています。
- ・今後も、定住人口の受け皿となり、吉沢地区の原動力としても期待されています。



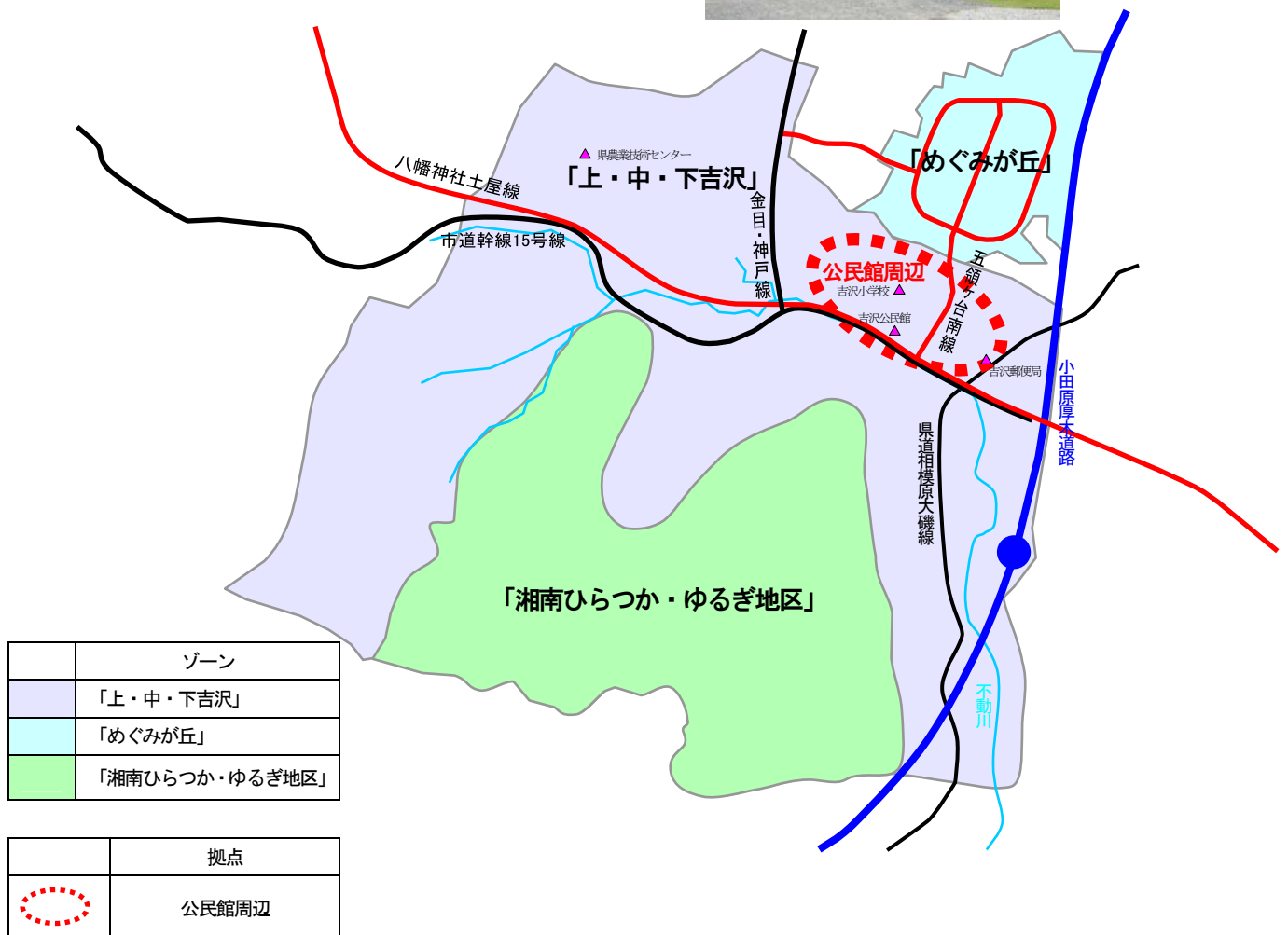
③「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」：豊かな自然環境が残る里地里山

- ・古くから人の手が入り、地域の人々が利用してきた里山で、豊かな自然環境や良好な景観、地域文化が残されています。
- ・里山は、多面的な機能を有していることから、地域の活性化にいかせる地域資源としても期待できます。
- ・しかし、里山を守る担い手が減少し、管理が行き届かなくなっているため、緑の質の低下やゴミの不法投棄の増加、遊歩道の崩壊など、徐々に荒廃化が進んでいます。
- ・また、サルやハクビシン、イノシシなどが里地に下りてきており、農作物を荒らすなどの被害が出ています。



④「公民館周辺」：吉沢公民館、吉沢小学校等の公共公益施設が立地する地区の拠点

- ・吉沢公民館、吉沢小学校等の公共公益施設等が立地しており、地区イベントや住民の様々なコミュニティ活動が行われる中心地となっています。
- ・とは言え、吉沢公民館は老朽化しており、耐震性の問題もあるため、早期の建替えが望まれています。



3. 上位計画による吉沢地区の位置づけ

平塚市の上位計画では、吉沢地区を含む「西部地域」や「ひらつかウエスタンヒルズ」は以下のように位置づけられています。

3-1 平塚市総合計画

平成19年6月に策定された「平塚市総合計画」において、西部地域は以下のように位置づけられています。

【都市づくりの基本構造】

既存の都市構造を活かしつつ、諸課題に対応するため、平塚駅周辺の中心市街地を南の核、神奈川県土の南のゲートとして計画されているツインシティを本市の北の核として、その二つの核の整備と、核を結ぶ南北都市軸の整備、また、自然環境が豊かで学術機関や研究所などが立地している西部地域と南北の二つの核とを結ぶ軸の整備、更には、周辺の広域自動車道へのアクセスの向上により、今後の都市づくりを支えます。

【土地利用の基本方針】

- ・西部地域では、学術機関や研究所などを活かした土地利用の促進による活性化に努めます。
- ・丘陵のみどりや田園、相模川や金目川水系などの豊かな自然資源を後世に引き継ぎ、その自然のもつ効果を楽しむため、適正な保全を図るとともに、交流やレクリエーションの場などとしての活用に努めます。

【土地利用の方向】

丘陵のみどりや水辺（海・川）の豊かな自然、動植物の生態系の維持・保全を図るとともに、学術機関や研究所などを活かした交流やふれあい、レクリエーションの場づくりなど自然環境と調和した活性化に努めます。

3-2 平塚市都市マスタープラン（第2次）

平成20年10月に策定された「平塚市都市マスタープラン（第2次）」において、西部地域は以下のように位置づけられています。

①将来都市構造

- 本市の西部に広がる地域は、次世代につなぐ貴重な里山として保全し活性化します。また、環境や自然をテーマに教育、交流、レクリエーション機能の場づくりなど、自然環境と調和した地域づくりを進めます。
- 地域の活性化に資する土地利用に努めます。



シンボル軸	みどりと水辺の活用拠点	住居系市街地
南北都市軸	みどりのふれあい拠点	商業・業務系市街地
交通軸	水辺のふれあい拠点	工業・産業界系市街地
南の核	学術機関、研究所	集落地・農地・自然系用地
北の核	良好な水辺の環境と調和したゾーン	豊かな自然をいかしたゾーン
西部地域		

将来都市構造図

出典：平塚市都市マスタープラン（第2次）

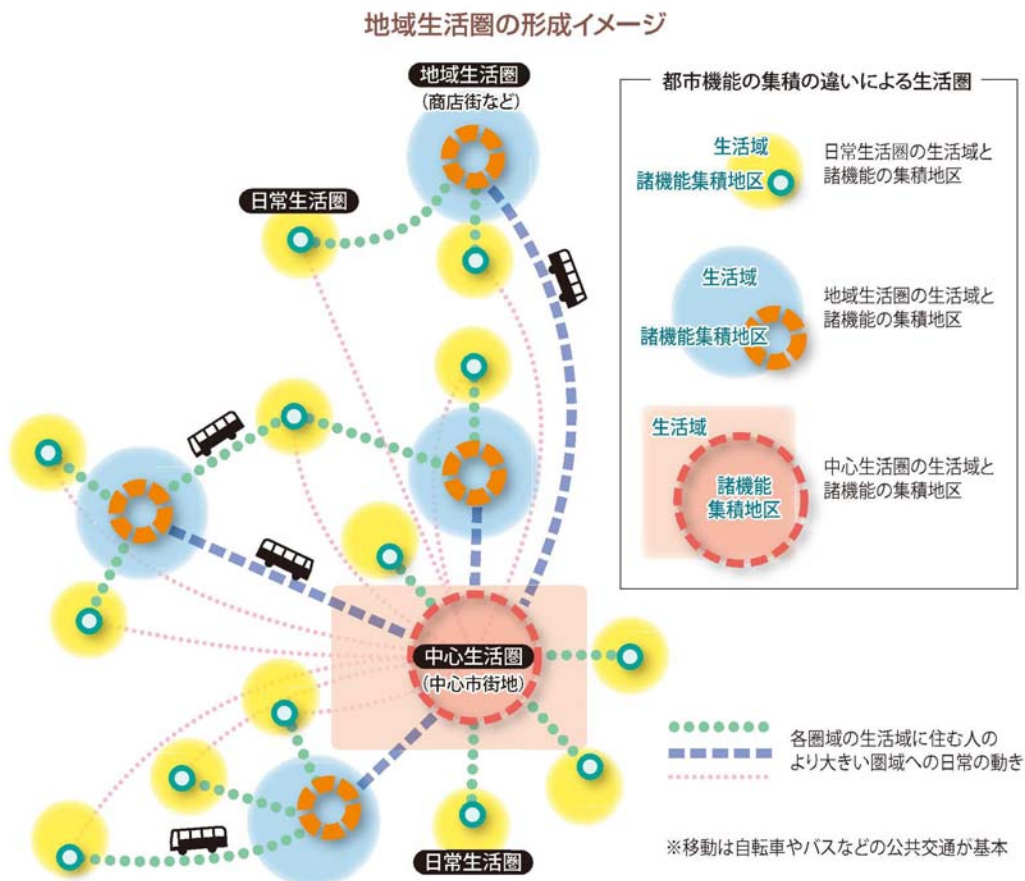
②コミュニティ豊かでコンパクトな地域生活圏の形成

【地域コミュニティの活動拠点づくりと活動の活性化の支援】

地域で支え合うコミュニティ活動や様々な市民活動の場を確保するため、既存の公共建築物を地域活動の拠点施設として有効にいかすと共に、市民のまちづくり活動の支援について検討します。

【歩いて暮らせる地域生活圏の形成】

職住の近接や日常の買物圏を重視し、その中心となる位置に、日常必要な商業施設や公共施設、バス停などの交通施設などをコンパクトに配置し、誰もが歩いて暮らせる地域生活圏の形成をめざします。



出典：平塚市都市マスタープラン（第2次）

③ひらつかウエスタンヒルズ

【顔づくりのねらい】

- ・生活スタイルの多様化のなかで、自然の魅力と都市の便利さの両方を求める人々も多いと考えられます。それらの人々にとって、この丘陵地の自然は価値ある存在であり、広く市外に向けてアピールすることのできる資産です。このため、都会にはない豊かな自然環境、ゆとりある空間、土地資源の恵みをいかした地域形成を進め、地域の活力を高めていくことが重要です。

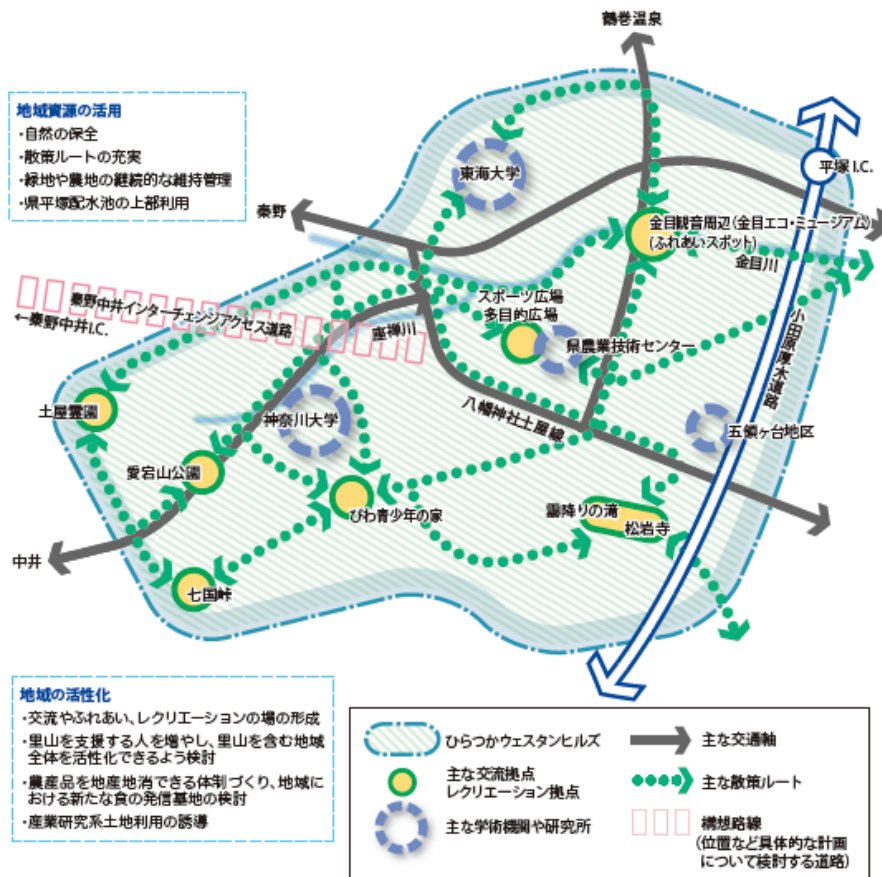
【取組みの方針】

- ・学術機関や研究所などとの連携や市街地に隣接する地理的な優位性と豊富な地域資源をいかし、交流・ふれあい、レクリエーションの場を形成することで、地域全体の活性化をめざします。

【取組みの方向性】

- ・学術機関や研究所と連携し、地域資源をいかして環境教育をベースとした交流・ふれあい、レクリエーションの場を形成します。
- ・里山に愛着をもつ人や農業の支援をしてくれる人、遊休農地を活用してくれる人、新しい生活スタイルとして地域の人となり里山を支えてくれる人など、里山を理解する人の手を増やし、地域全体を活性化できるよう検討します。

ひらつかウエスタンヒルズに係わる取組みの方向性のイメージ



出典：平塚市都市マスタープラン（第2次）

④西部地域のまちづくり方針

【西部地域のまちづくりの目標と将来像】

まちづくりの目標

- 恵まれた自然や歴史資産をいかし、地域を広くアピール
- 安心安全の道路と交通の確保による、便利な移動環境の確保
- 住民と大学などとの交流による地域の活性化

将来像

恵まれた自然環境をいかして地域を活性化し、 交流の輪を次世代につなぐまち

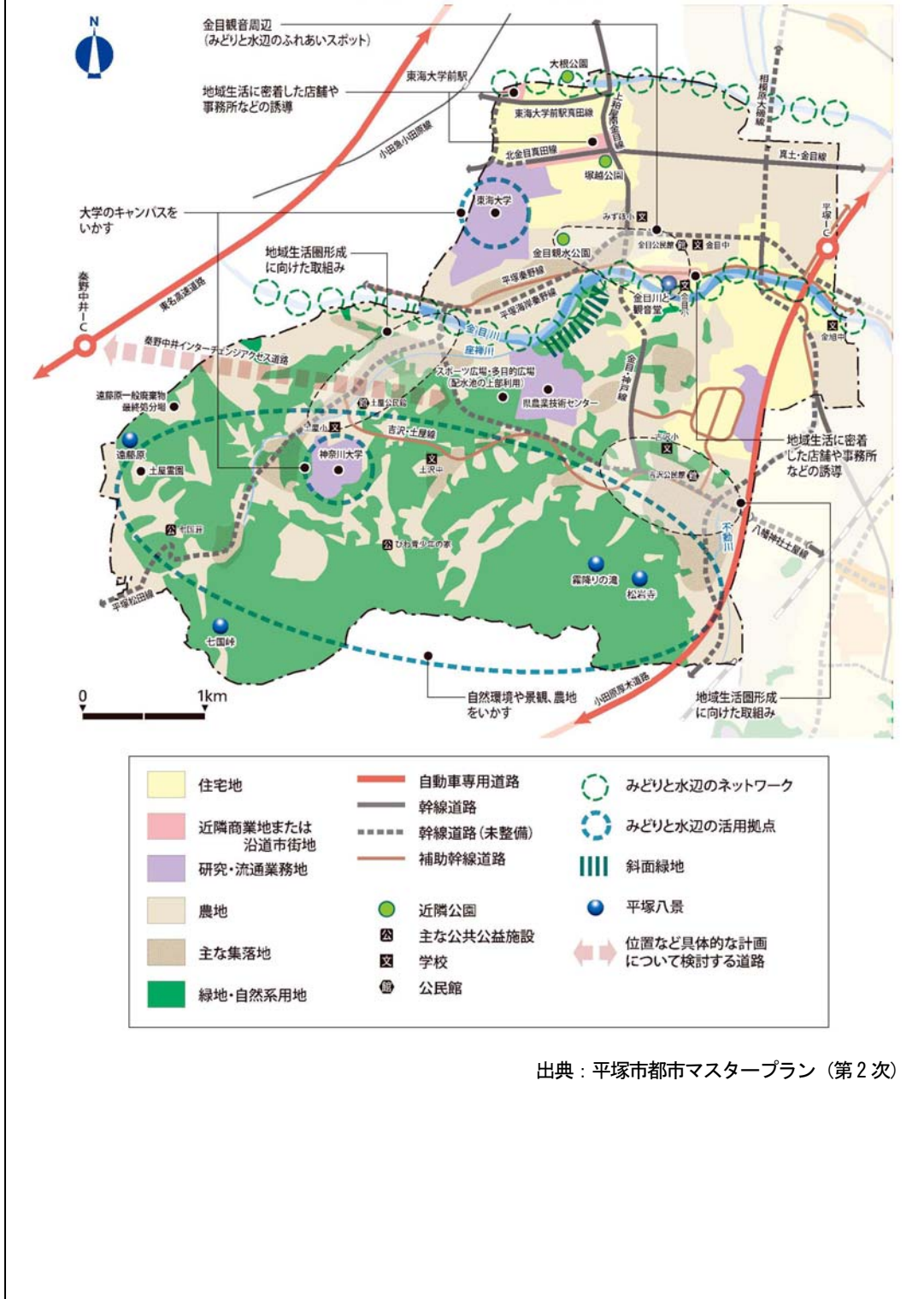
先人が大切に守り培ってきた自然や歴史・文化が脈々と息づく西部地域は、住民と大学や都市住民との交流のなかで新たな活気を創出し、地域の貴重な資産を守り、いかし、次世代につなぐまちをめざします。

【西部地域の資源をいかした魅力づくりの方針】

- ・各拠点においては、地域の自然や景観を楽しむ場、環境学習できる場、地元住民との交流の場などの創出について検討します。
- ・2つの大学の立地をいかし、キャンパスと地域が相互に空間を提供しあい、学生と地域住民など様々な人の交流を進め、相互に活力を高め合うしくみづくりを検討します。
- ・本市の貴重な資源である西部丘陵地の自然環境や景観、農地などは、様々な角度から地域の活性化につながるよう検討します。

出典：平塚市都市マスタープラン（第2次）

【西部地域のまちづくり方針図】



出典：平塚市都市マスタープラン（第2次）

4. まちづくりの課題

吉沢地区の現状や協議会役員会、ワークショップ等での議論を踏まえ、吉沢地区におけるまちづくりの課題を以下の様に整理しました。

○里地里山を守り育てる

「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」に広がる里山の美しさや、のどかな田園風景などは、吉沢地区の大切な地域資源として評価することができます。

しかし、近年は、人手不足により管理の手が回らず荒廃化してきているのも事実です。例えば、竹林や藪が増え、山中へのゴミ捨てなど不法投棄も散見されるなど緑地の景観が変化してきています。

また、散策路が整備されていますが、危険で薄暗い箇所が多く、老朽化による崩壊箇所も見られます。子供たちや地域の人たちが気軽に遊びに行ける親しみのある場所とは言えないのも事実です。

このため、次世代・次々世代に、里地里山の豊かな自然環境を引き継いでいけるよう、今からしっかりと守り・育てていくことが必要と考えられます。

○地区の歴史・文化を誇りとして守る

吉沢地区には、「吉沢公民館」や「八剣神社」、平塚八景にも選ばれている「霧降の滝」や「松岩寺」が存しており、さらには「祭り」も引き継がれています。これらは、地域の人たちの誇りでもあります。

しかし、これらは適切に維持管理・継承されているとは言い難く、祭りなどの伝統行事は担い手不足により廃れてしまう恐れがあります。

もう一度、地区の歴史や文化を再認識し、魅力あるものにしていく努力も必要と考えられます。

○人口の停滞、減少傾向による活力低下への対応

「上・中・下吉沢」の人口は、停滞～減少傾向にあり、また、若い世代の多くが地区外に出ていることから、地域コミュニティの活力低下が顕著になってきています。

「上・中・下吉沢」の農業の魅力を高めることや「めぐみが丘」の産業用地への企業誘致による就業の場の確保、若い世代のための施設の充実などにより、吉沢地区をアピールすることで、現在、地区外に住んでいる人たちを呼び戻すとともに、新たな人を呼び込むことも必要であると考えられます。

○高齢化社会への対応

全国的な傾向と同様に、吉沢地区は高齢化が進むことは明らかであります。このため、高齢者が活動する場所や施設の確保、買い物・通院などのための交通手段の確保、更には地域での助け合い精神の醸成など、安心して暮らせる生活環境づくりが必要と考えられます。

○生活の利便性の向上

吉沢地区には、日常生活に必要な物を買うことができる場所や医療機関等が殆どないため、不便を感じている住民が多くいます。

新たな定住人口を求めるにもこうした便利施設や公共公益施設は必要不可欠と考えられます。また、高齢者や若年者にとっては、公共交通が必要不可欠であり、その充実が求められます。

○農業の活性化

「上・中・下吉沢」では、農業が主な産業ですが、高齢化や後継者不足などにより休耕地が増加するなど衰退の危機にあります。このため、農地に安全で容易に行ける様に農道整備を進めていくことも必要になっています。

また、特徴ある農産物の育成や地場の材料を使った特産品づくりによる付加価値の高い商品の販売、貸し農園の整備や農業生産法人の設立などの新たな農業形態の検討、地元農産物のアピールの方法の検討等の必要性が高まってきていると考えられます。

○安全で機能的な道路の整備

「上・中・下吉沢」は山や農地に囲まれており、道路が限られていることから道路網が弱く、集落内の移動も不便さがあります。また、狹隘道路が多く、加えて、車がスピードを出しすぎていることに対する不安もあります。通学路にもなっている市道幹道 15 号線は一部区間で歩道がないため大変危険な状況です。また、吉沢地区の骨格道路となる八幡神社土屋線や五領ケ台南線等は未整備のままとなっています。このため、安全で機能的な道路の整備が必要と考えられます。

○防犯活動・対策の充実

昨今、全国的に凶悪な犯罪が増えており、平塚市においても不審者対策が講じられています。一人暮らしのへの声かけや子どもたちを見守るシステムの構築、パトロール活動の強化などが求められます。また、道路には街灯が少なく、夜道が暗いといった指摘もあり、適切な街灯の整備も必要と考えられます。

5. まちづくりの目標

「平塚市都市マスタープラン（第2次）」に示された「西部地域の将来像とまちづくりの目標」を吉沢地区におけるまちづくりの目標としました。

そして、以下の5つの「キーワード」が重要であると理解し、9つの具体的なまちづくりの取組みを掲げました。

「平塚市都市マスタープラン（第2次）」における
「西部地域の将来像とまちづくりの目標」

■将来像

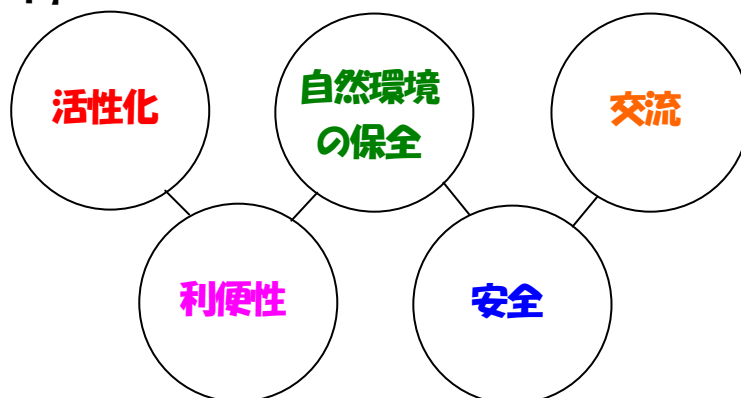
**“恵まれた自然環境をいかして地域を活性化し、交流の輪を
次世代につなぐまちづくり”**

先人が大切に守り培ってきた自然や歴史・文化が脈々と息づく西部地域は、住民と大学や都市住民との交流の中で新たな活気を創出し、地域の貴重な資産を守り、いかし、次世代につなぐまちをめざします。

■まちづくりの目標

- 恵まれた自然や歴史資産をいかし、地域を広くアピール
- 安心安全の道路と交通の確保による、便利な移動環境の確保
- 住民と大学などとの交流による地域の活性化

【5つのキーワード】



■吉沢地区でのまちづくりの取組み

吉沢地区の現状やまちづくりの課題、協議会会員総会・役員会・3部会・東京農業大学との協働による「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」の活性化に向けたワークショップ等での議論及び吉沢公民館自主事業『吉沢再発見！「吉沢の福祉」ワークショップ』での意見も踏まえ、吉沢地区でのまちづくりの取組みを以下の様に具体的に整理しました。

①魅力ある拠点形成【利便性・活性化】

- ・魅力ある拠点形成に向け、「吉沢公民館周辺」に日常必要な商業施設や待機児童の改善のための保育所、子供たちが自由に遊べる広場（多目的運動公園）、ミニ図書館等の公共公益施設の立地誘導の要望活動を進めます。
- ・吉沢公民館は、将来的には地区の拠点にふさわしい新しい施設に建替えるよう要望活動を進めます。
- ・吉沢公民館等を活用した地域情報宣伝活動の拠点づくりを進めます。

②里地里山を守り育てよう【自然環境の保全・交流・活性化】

- ・ボランティアや地域に住む人々に加え、里山管理の新たな担い手を確保するしくみづくりを進めます。
- ・交流・レクリエーション活動等と連動しながら、荒廃山林や休耕地を保全・再生・活用・創出するしくみづくりを進めます。
- ・「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」において、散策路の改修やトイレの設置、自然を活かした広場づくり、中吉沢の池及び周辺の整備など、子供たちや地域の人たちが自由に集まり自然を身近に感じられる里地里山づくりを進めます。
- ・案内板、解説板の設置などのハード面に加えて、地区のマップづくりなどのソフト面でも工夫し、地区に点在する歴史・文化資源のアピール活動を進めます。

③定住人口を確保しよう【活性化】

- ・地域コミュニティの活力を維持していくために、地区全体で新たな住民を確保していくことを目指します。
- ・「めぐみが丘」では、今後も地区計画に定められたまちづくりルールを尊重し、良好な居住環境を維持し目標人口の確保に努めます。

④交流人口を増やそう【交流】

- ・吉沢地区の小・中学生や高校生が、地域のまちづくりに取り組むような活動を進めます。
- ・大学生の柔軟な発想力と力強い行動力を活かした、より魅力的な地域イベントや祭りを行うなど、多くの人に来訪してもらえる交流活動を活発に進めます。
- ・「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」において、自然活動や農業体験等の活動プログラムを展開するなど、小・中学校等の教育機関への環境学習の場の提供や都市住民等との交流機会を確保していく取組みを進めます。

⑤農業の活性化に向けた新たな取組みを進めよう【活性化】

- ・地元農家が中心となった農業生産法人や貸し農園等の新しい農業形態の検討、地産地消マップの作成、農業に携わる人を増やすしくみを検討するなど、農業活性化の糸口に繋がる取組みを進めます。
- ・地形的に不利な農地をより使いやすく効率的に生産できるようにするため、農耕車両等が安全かつ容易に通行できるように農道を拡幅整備するよう要望活動を進めます。
- ・地元の農産物をアピールしていくために、吉沢地区で活動する「とれたてプラザ」との連携や雇用の創出にも繋がる地産地消の店舗の開設等を検討します。
- ・学術機関や研究所との連携を図り、地元農産物のブランド化や商品価値の高い加工品づくり等を検討します。

⑥交通の利便性を高めよう【利便性】

- ・高齢者の通院や買い物、土沢中学校までの送迎等を支援するコミュニティバスや地域と吉沢公民館を循環しどこでも誰でも乗れる循環バス等の導入、定期バスの無料化について要望活動を進めます。
- ・「めぐみが丘」においては、店舗併設の食品加工所の出店も計画されていることから、買物の利便性を向上させるためにも、バス事業者等に運行本数の強化等の要望活動を進めます。
- ・吉沢地区内の人たちの利便性を高めるために、コンビニエンスストア付近へのバス停設置や上吉沢の台地区経由のバスルート検討などについて、バス事業者等に要望活動を進めます。

⑦体系的な道路網の整備を推進しよう【利便性・安全・活性化】

- ・通学路であり地区住民の主動線でもある市道幹道15号線の歩道整備について要望活動を進めます。
- ・市の上位計画においても優先整備路線として位置づけられている八幡神社土屋線や整備途中の五領ヶ台南線、吉沢地区と金目地区を結ぶ金目・神戸線について早急に整備着手するよう要望活動を進めます。
- ・通学路にもなっている生活道路の歩道設置や狭隘部分の拡幅を優先的に行うなど、地域の利便性向上、安全・安心に繋がる道路づくりについて要望活動を進めます。

⑧防犯や交通安全を心掛けよう【安全】

- ・隣近所での日常的な声の掛け合いや消防団、自治会等による防犯運動の推進、街灯設置の要望を進めるなど、地域の安全・安心に努めます。
- ・交通マナーの遵守を呼びかけ、道路の安全通行に努めます。

⑨グリーンアップ活動を心がけよう【自然環境の保全・交流】

- ・「めぐみが丘」は、平塚市に於ける「美化推進モデル地区」の第1号に認定されており、まち全体の清掃や美化運動の推進に努めています。美しい自然や景観は、吉沢地区全体がきれいであってこそのものであると考え、この活動を吉沢地区全体へも波及させる様に努めます。
- ・吉沢地区内を流れる河川は美しい景観を形成する重要な要素であることから、美化・清掃等の河川整備について要望活動を進めます。

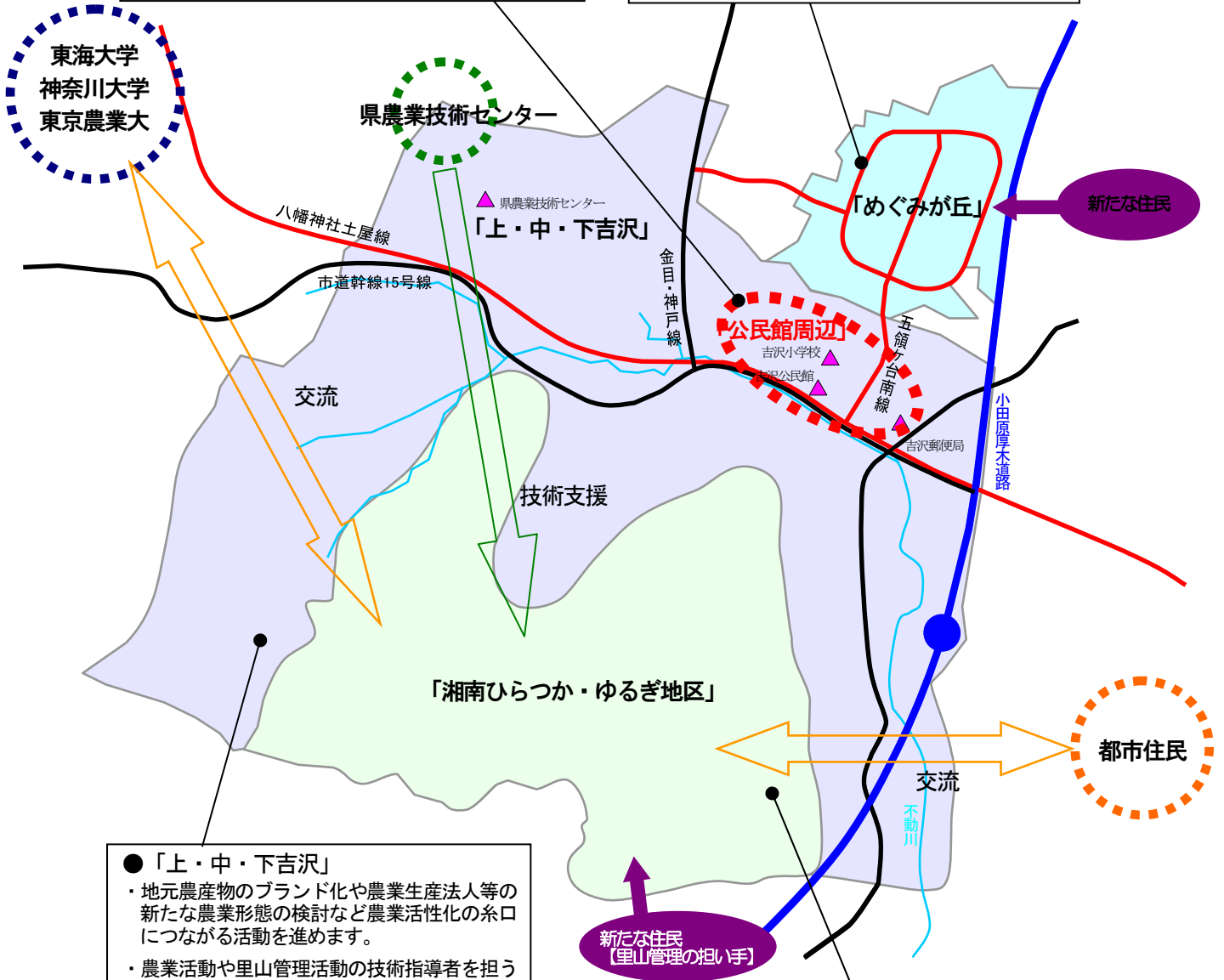
■各エリアでの主なまちづくりの取組み

●「公民館周辺」

- ・吉沢公民館や郵便局、コンビニエンスストアのほかに、日常に必要な商業施設や公共・公益施設等の諸機能の立地誘導の要望活動を進めます。
- ・吉沢公民館の建替えの要望活動を進めます。
- ・吉沢公民館等を活用した地域情報宣伝活動の拠点づくりを進めます。

●「めぐみが丘」

- ・地区計画に定められたまちづくりルールを遵守し、住みやすく心地の良い住環境を維持していき、定住人口増に努めます。
- ・地域イベントや「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」での各種活動に参加するなど、地域コミュニティの活性化を進めます。
- ・五領ヶ台南線整備の要望活動を進めます。



●「上・中・下吉沢」

- ・地元農産物のブランド化や農業生産法人等の新たな農業形態の検討など農業活性化の糸口につながる活動を進めます。
- ・農業活動や里山管理活動の技術指導者を担うなど、地域コミュニティの活性化を進めます。
- ・地域のマップづくりなど、歴史・文化資産のアピール活動を進めます。
- ・市道幹道15号線、八幡神社土屋線、金目・神戸線整備の要望活動を進めます。
- ・生活道路の歩道整備や拡幅整備の要望活動を進めます。

●「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」

- ・里山里山の新たな担い手を確保するしくみづくりを進めます。
- ・交流・レクリエーション活動と連動した里山里山の保全・再生・活用・創出のしくみづくりを進めます。
- ・散策路の改修やトイレの設置等の里山里山づくりを進めます。
- ・里山里山を活用した自然活動や農業体験等の活動プログラムを展開するなど、環境学習の場の提供や都市住民等との交流機会を確保していく取組みを進めます。
- ・農道の拡幅整備の要望活動を進めます。

6. 「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」における先導的な取組み

吉沢地区のまちづくりは、規模も大きく、かつ、多岐に亘る取組み内容になっています。このため、すべての取組みには、長い時間と大きなエネルギーを必要とすることは否めません。

そこで、まずは、できる限り大きなインパクトがあり、波及効果が望める取組みを行い、それに連動して次々と進んでいくことを期待したいと考えます。

「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」は、地域にとって最大の資源であるからこそ、保全・再生・活用・創出する取組みこそが、大きなインパクトと波及効果を生むものだと考えられます。

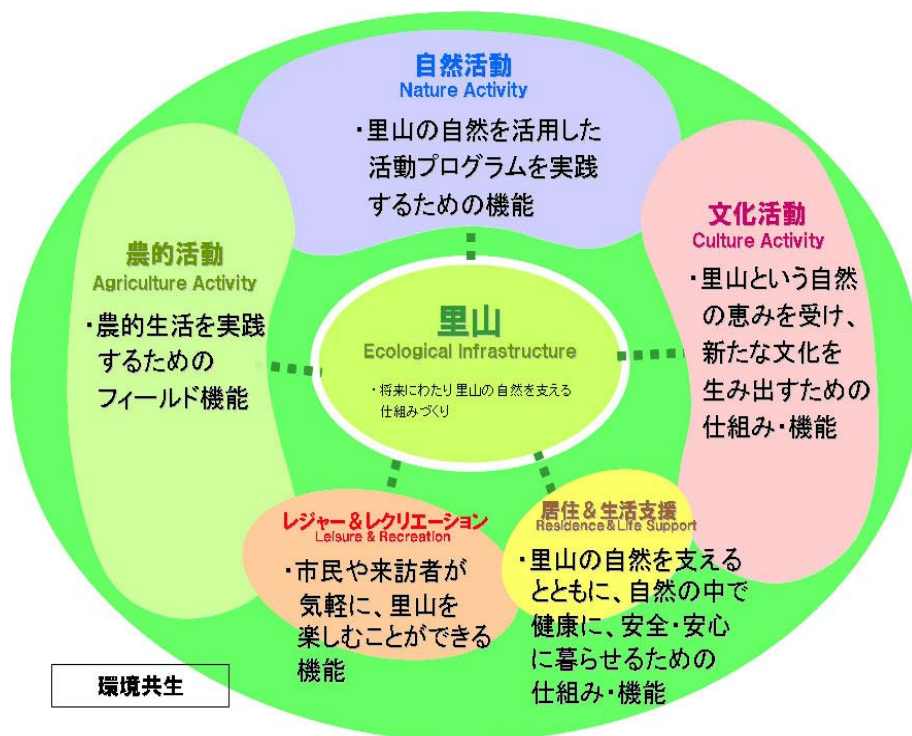
幸いにして、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」では、既に産官学民による活性化に向けた取組みが動き出してもいます。

したがって、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」のまちづくりを先導的に取組んでいくものとします。

6-1 「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」の取組みの方向性

里地里山の新たな担い手確保と「交流、レジャー・レクリエーション」活動との連動による里地里山の保全・再生・活用・創出を図ります。

6-2 「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」の基本的な考え方



7. 吉沢地区のまちづくりの実現による波及効果

各地区でのまちづくりの取組みが他地区へ及ぼす主な効果として、以下のような事が考えられます。

	「上・中・下吉沢」	「めぐみが丘」	「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」	「公民館周辺」
「上・中・下吉沢」		<ul style="list-style-type: none"> 新鮮な農産物を提供します。 農業等への参加機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 里山管理の技術指導者になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常必要な商業施設や公共・公益施設の立地を促進します。
「めぐみが丘」	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消を促進します。 農業等へ参加し、休耕地の担い手となります。 		<ul style="list-style-type: none"> 里山管理の担い手になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常必要な商業施設や公共・公益施設の立地を促進します。
「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」	<ul style="list-style-type: none"> Uターンの喚起や流出人口が抑制され、定住人口の増加が期待できます。 文化、教育、レジャーなどの地域コミュニティの交流や地域雇用等の機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化、教育、レジャーなどの地域コミュニティの交流や地域雇用等の機会を提供します。 		<ul style="list-style-type: none"> 日常必要な商業施設や公共・公益施設の立地を促進します。
「公民館周辺」	<ul style="list-style-type: none"> 地区の利便性が向上します。 地区の情報発信拠点となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の利便性が向上します。 地区の情報発信拠点となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の利便性が向上します。 地区の情報発信拠点となります。 	

